

かわにし

議会だより

第121号

2015

4.15



思い出が
いっぱい

3月25日 北斗幼稚園卒園式
P23に関連記事

辛口の評価続出

初めての政策検証 2

27年度予算 初の100億円超え 6

都市計画・観光行政など5議員が町政をただす ... 17

議会だより最優秀賞に輝く 30

辛口の評価続出、初めての政策検証

25年度政策提言、意見交換会から一巡

3月20日、定例会最終日に、25年度政策提言に対する執行状況と成果についての検証評価報告書が、議長から町長に提出された。

これは25年5月施行の議会基本条例に規定された、一連の議会改革プログラムによるもので、町民との意見交換会、各段階による分析討論などを経て昨年1月に提出された政

策提言書が、町政にどのように反映され実施されたかを検証評価したものである。これによって、一年サイクルとした政策提言の流れは一巡したこととなる。

初めての試みでもあり、提言の内容が長期的政策に及ぶものもあつたことから、議員の評価は辛口の点数が続出、議会と執行者側との認識の違いを示すものとなつた。

検証と評価の手順及び基準については、議会基本条例に定めがなく、先進事例も乏しいため、広報広聴常任委員会の協議を受け、議会運営委員会で決定された。

まず、昨年2月20日の町長からの回答書をもとに、所管の常任委員会ごとに検証することとし、それに際し、

検証と評価の手順及び基準については、議会基本条例に定めがなく、先進事例も乏しいため、広報広聴常任委員会の協議を受け、議会運営委員会で決定された。

基本条例第8条（政策形成過程の説明）に明記される7項目を「ものさし」として、各課より執行状況を聴取した。

①政策を必要とする背景 ②提案に至るまでの経緯 ③町民参加の実施の有無及びその内容 ④他の自治体の類似する政策との比較検討 ⑤総合計画における根拠又は位置づけ ⑥財源 ⑦将来にわたる政策などの効果およびコストが7つの「ものさし」である。その上で各議員が小項目ごとに5から1までの5段階評価を行い、全員の前平均値が評価点である。評価Aは平均点4・5以上、Bは3・5以上、Cは2・5以上、Dは1・5以上、



議長から町長へ「検証評価報告書」を手渡す

1・4以下が評価Eである。それぞれの評価の基準は下の表に示した通り。

議会は不断に進化する

今回の検証評価で、政策提言の一連の流れは一巡したこととなるが、基本条例には、流れそのものの自己検証も規定されている。今後、任期最終の議会運営委員会で行われる。

政策検証評価の基準	
A	必要な取り組みを着実に実施、その結果、目標達成ないしほぼ達成
B	必要な取り組みを着実に実施、その結果、達成に向けて具体的成果が見られる
C	必要な取り組みをおおむね実施、その結果、一定の成果が見られ始めている
D	必要な取り組みに着手しているものの、目標達成までには、なお課題が残されている
E	取り組みに向けた検討に着手、目標達成に向けた具体的展開が今後の課題である

1 提言

評価 施設管理計画の基本指針を示せ

提言①の町有施設再生計画の策定、②の総合計画との整合及び「まちづくり」視点からの整備

については評価はCとなった。

27年度中に、次の総合計画の策定と連動して「公共施設等総合管理計画」を作るとしているが、その方向性が

まだ示されていないことが低評価の理由。

評価 施設の複合化を推進せよ

提言③の複合化推進については評価C。

保育所、診療所、福祉センターの機能連携について庁内調整会議が設置された。推移を注視する時期である。

評価 建設後の点検・検証制度を

④は施設建設後の点検・検証制度を作れとの提言であったが、まだ動きはなく、評価はDとなった。早急に実施すること、請負業者の瑕疵責任などについても調査検討せよとの意見が提出された。

急がれる庁舎のあり方



急がれる庁舎のあり方

待機児童の 実質ゼロを好評価

評価

提言2



午前のお散歩タイム 道行く車は皆徐行

新制度による枠拡大に期待

提言(1)の待機児童の実質ゼロを目指せは、Bの好評価となった。27年1月現在の待機児童はゼロ。4月からの新制度で認可保育所が一つ増え、さらに小規模保育事業所1カ所も制度の対象施設となる。

提言3

提言

水田基盤整備、 町負担枠の拡大を

粘り強い運動しかない

提言(1)の地方負担軽減のための新たなガイドライン創設のため、国に強力に働きかけよと、(2)の町負担予算枠

の拡大をせよは、ともに評価C。議会と共同で、県及び農林水産省に要望活動を行ったが、ハード

ルは高い。町負担を1億円程度とする回答だが、なんとか新規申請を行うべきであるとの意見が示された。

学童保育、 校内開設を

進めよ

(2)の学童保育の充実を求める提言は評価C。

小松小学校内に放課後児童クラブの教室ができたことは好評価。他の2地区でも校内に設置すべきとの意見が多く、指導員の研修養成や処遇改善に向けた追加提案もあった。



工事は順調だが予算の確保は

6次産業化の推進—販売戦略を第二番に

提言4

提言

運営組織の立ち上げが急務

提言(1)の消費動向や物流の研究を行的確な販売戦略を立てること、(2)の高い付加価値を持つた商品づくりの指導を行え、

(4)の情報発信と物流の核となる仕組み、人材育成システムの確立も(1)と同様の理由で評価はDにとどまった。特記意見として、起業意識の高い人たちによる、直売施設でない商品」の開発を目指す

ことが、拠点施設の建設動機でなければならぬ。また、米沢牛や川西産米を素材としたメニューや「旬」のもので提供する工夫をせよといった期待が目立った。(4)については、既存の直売所の集約やインターネット販売の強化も重要であり、販売イベントなど情報発信力が求められているとの意見が明記された。議会としては、拠点施設建設に時期尚早、あるいは準備不足との意見もあり、町との温度差が感じられる検証となった。

運営の形よりも実務力が必要だ

提言(5)の経営の主体の選定について十分に吟味すること、(2)の町負担予算枠の拡大をせよは、ともに評価C。町は、公設民営方式により指定管理者制度を導入することを予定しており、27年1月末に運営会社設立のための準備委員会を開催、

しかし検証報告書では、施設の成功は、総合的なマネジメント力を持つ人材の確保が最大の課題であるとして、運営の形態よりも、マーケティング、マネジメント能力といった実務に力点を置いた意見となっている。

施設用地の造成は年度内

6次産業化の推進に関する提言の中で唯一の好評価Bとなったのは、(3)の拠点施設の整備事業の展開。用地の造成工事は27年3月に終了する。



顔を見て、手から手へ

順次、出資者説明会を行うとしている。



「子育てのまち川西」中学生までの医療費無料化は5年目となる(川西中学校入学式)

3月定例会の あらまし

3月定例会が3月4日から20日までの17日間の会期で開催されました。

第1日目に、固定資産評価審査委員会委員の選任の人事1件を審議した後、常任委員会に条例7件の審査を、予算特別委員会に条例など6件、本年度補正予算、新年度予算など10議案の審査をそれぞれ付託しました。

第2日目に、5議員が一般質問を行い、都市計画、観光行政などをとりあげ、町政をたしました。

大型事業目白押し 防災にも重点配分

第3日目以降に、常任委員会、予算特別委員会分科会を開き、各議案を審査しました。

最終日に、予算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した23議案を原案どおり可決し、追加提案された条例2件を審議しました。その後、補正予算1件を予算特別委員会に付託して審査を行い、本会議で可決しました。請願1件を継続審査とし、閉会中の事務調査を許可し、閉会しました。

なお、今期定例会の傍聴者は31人でした。

平成27年度一般会計予算の特徴

- ①当初予算で初の100億超え。前年度当初比10.3%増
- ②投資的経費は19億9620万円。借入金は19億6550万円
大型事業盛り込む
- ③人件費1.4%減、補助費4.5%増など、義務的経費増

平成27年度の一般会計予算の総額は、106億400万円、前年度対比10.3%増で、大幅な増額予算となった。

第4次総合計画の最終年度を迎え、「6次産業化推進」「地域づくり活性化」「交流基盤確立」の三つのプロジェクトに重点配分された。

財政の健全化に努めながら、6次産業化拠点施設、虚空蔵山西線道路改良やパークゴルフ場の用地取得、小学校施設耐震化、防災拠点再生可能エネルギー導入、防災行政無線増設など、重点事業に積極的に予算を配分した。

また、吉島小プール改修、町誕生60周年記念事業、井上ひさしさ

んをしのぶ吉里吉里(きりきり)忌の開催などにも取り組む。

さらに、若者の定着化、子育て支援を進めるため、民間業者がアパートを新設する際に、上限1000万円の補助金を出す勤労者住宅支援事業、中学生までの医療費無料化を継続して実施する。

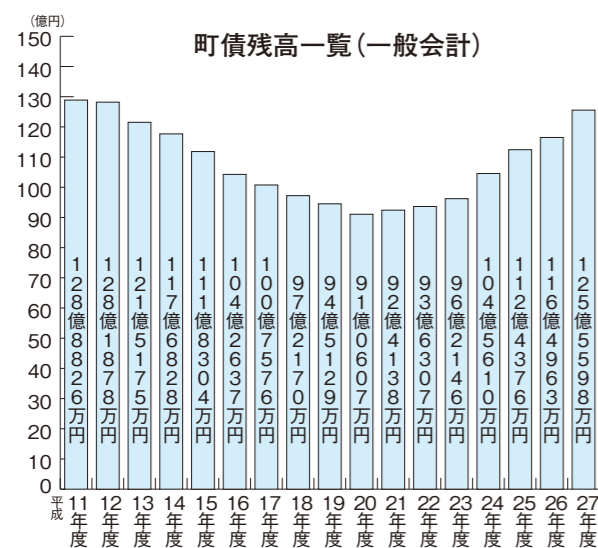
予算特別委員会では、

詳細な説明を受け、徹底した議論を行い、慎重に審議を重ねた。

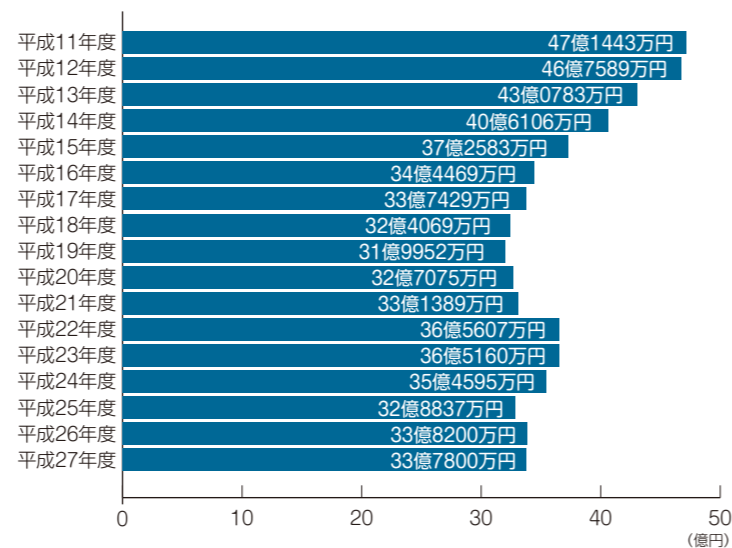
議会からは、昨年度から大型の投資的事業が続いており、借入金残高が年々増えていることから、健全財政を心配する声があった。特に6次産業化拠点施設の運営を不安視する声があり、質問が相次いだ。

ここが知りたい

町債(借入金残高)の推移



地方交付税の推移(置賜広域病院組合分を除く本町純粋分)



私もひとこと

吉島地区 **島貫 としこ 稔子** さん

私は近くの直売所で野菜を販売しているが、6次産業化拠点施設が開業したときは、是非出店してみたい。成功させるには、目玉商品を開発し話題となるような施設にしていく必要があると思う。場所の選定については疑問もある。



吉島地区 **情野 光一** さん

自分の家は、交流センターから近いので、防災無線は良く聞こえるので助かっているが、災害が発生したときに備えて全町に聞こえるようになれば、安心して生活ができると思う。また、災害時には消防団の力が必要であり、消防団に対する支援を望む。



犬川地区 **平田 友里** さん

私は米沢に行くときに、八相山線から国道287号を通るが、大型車の通行も多く、特に中郡駅前の道路が狭く怖いと思うことが多い。虚空蔵山西線の整備が行われれば、米沢に行くときは大変便利だと思う。早期完成を望む。



27年度 予算



虚空蔵山西線道路改良工事 位置図

西回り幹線道路の南部分にあたる虚空蔵山西線の整備が本格的に始まる。八相山線から米沢市に至るルート1420mのうち本町分は1080mで、すでに地権者への説明会が終了し、今年度は用地取得、埋蔵文化財の調査などが進められる。米沢市側(340m)は1年遅れでの着工となり、完成年次は平成31年の予定。

7177万円

虚空蔵山西線道路改良



気軽にパークゴルフを楽しもう

ふれあいの丘(小松スキー場付近)に4コース、36ホールのパークゴルフ場を整備する。今年度は、実設計、用地取得、開発に伴う法的手続きに取り組む。今春にリニューアルオープンする温泉「浴浴センターまどか」との相乗効果を図り、観光と交流の拠点として期待が高まる。完成は平成28年の予定、芝生の養生を経てオープンされる。

7759万円

パークゴルフ場整備



防災拠点再生可能 エネルギー導入 **6998万円**

東北の被災地などで、非常時における避難住民の受け入れや電力供給等を担う地域に対し、防災拠点の再生可能エネルギー、蓄電池の導入などを支援する事業。フレンドリープラザ、東沢活性化センターに太陽光発電施設を整備するもので、グリーンニューディール基金制度に位置づけられた補助事業。補助率は10分の10。

防災行政無線整備 **1億8323万円**

「消防団緊急伝達システム」として、屋外拡声スピーカーが12局あるが、電波法上、消防アナログ波の使用は、平成28年5月末までとなり、市町村デジタル波を使用した「同報系防災行政無線」として再整備するもの。再整備後は20局に増設される。財源は緊急防災減災債(100%充当)を活用する。償還のうち70%は交付税に算入され、残り30%の半分が県から補助金として交付される。



整地が完了した予定地

基幹産業の農業を基軸に、商工業や観光と連携し、所得の向上と地域経済の活性化を進めるため、中小松に6次産業化拠点施設を整備する。用地取得、造成費用に9000万円、本体工事に2億1276万円、厨房機器等4320万円、外構工事5400万円、その他の経費を含む。愛称が「森のマルシェ」に決定し、運営主体の株式会社も設立された。町としての開業準備の運営補助金1060万円も盛り込まれている。

4億4621万円

6次産業化拠点施設



耐震化工事が行われる犬川小体育館

文部科学省により、学校施設の耐震化が義務づけられているが、玉庭、犬川、中郡、東沢各小学校体育館の耐震診断を行った結果、いずれも補強が必要との診断となった。26年度に着工した玉庭小学校の体育館新築工事を継続するほか、3小学校体育館の耐震補強工事と併せて外壁、屋根、窓などの改修を実施する。玉庭小学校の体育館に2億7573万円、犬川小8601万円、中郡小7282万円、東沢小8353万円の予算が配分されている。

5億1812万円

小学校施設耐震化工事



川西町6次産業化拠点施設イメージ図

平成27年度 一般会計予算で討論

加藤 俊一 議員

賛成

平成27年度は第4次川西町総合計画の最終年度となり、後期基本計画に位置付けられた主要課題「地域づくり活性化プロジェクト」、「6次産業化推進プロジェクト」、「交流基盤確立プロジェクト」をはじめとする各種施策を推進し完成を目指していく年である。

特に6次産業化の取り組みは、本町農業が置かれている現在の厳しい状況を、何とか打開する一つの手立てとして大いに期待するものである。

地域資源を生かすためにも6次産業化の推進は是非とも必要である。町が全てお膳立てするものでなく、町民本位の運営主体を立ち上げて運営していくという方針である。平成27年度予算は、厳しい財政状況ではあるものの、住民要望に可能な限りの施策が盛り込まれた予算であり、賛成する。

反対

橋本 欣一 議員

議案中、川西町6次産業化拠点施設整備について反対する。

まず、施設面積の増、軟弱地盤対応などによる約9000万円の増額は、はじめて聞く話だ。議会からの提言もあり特に注目されている中で、全議員に対して丁寧な説明が必要であった。総括質疑などで同僚議員の指摘で説明したということだけでは納得できない。

また、設計においても、運営主体の意向を取り入れた設計を要望したが、従前どおりである。販売品目の設定も町独自のブランド力のある品目の絞り込みもない。

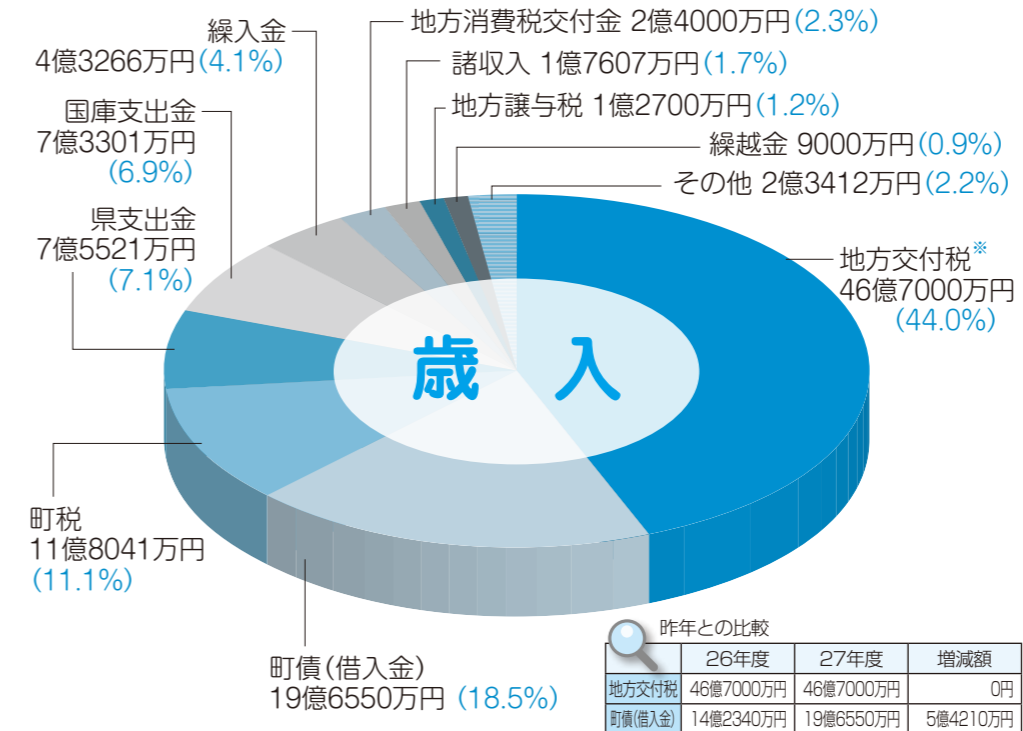
昨年、議会と町民との意見交換会の際、大変厳しい意見があった。運営組織、マーケティングリサーチ、販売品目の選定、町内スーパーとの競合などの問題を十分に納得できる形で町民に説明がされていない、時間をかけた検討が必要だ。

予算
審議

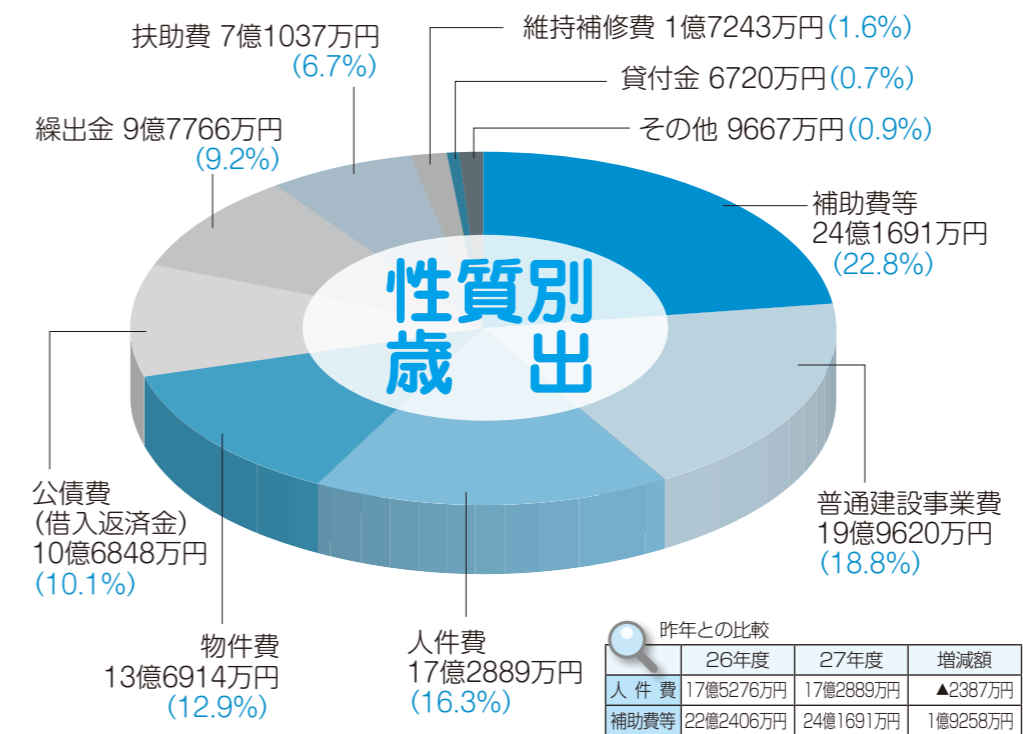
増える借入金残高

議会 健全財政を注視

予算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計の予算、関係条例を審査した。ここでは討論、総括質疑、分科会での質疑を要約した。



一般会計 106億400万円



*地方交付税 公立置賜総合病院分は本町に交付され、その後病院に支出される。本町純粋分は33億7800万円。

予算審議

6次拠点本当に大丈夫か

予算特別委員会に付託された条例など6件、本年度補正予算、新年度予算など10議案の審議は分科会で行われた。議案の説明の後「総括質疑」を行った。今回は7人の議員が総括質疑を行い、活発な議論が交わされた。

総括質疑

経済効果も狙った事業を

橋本 欣一 議員

橋本 27年度は町誕生60周年、フレンドリープラザ20周年、吉里吉里忌などのイベントがあるが、行事のみでなく、経済効果なども狙った交流とすべしである。

町の地方創生の5年間の総合戦略策定と町

町長 第5次総合計画の関連はどうかとらえるか。ダリアを中心とした総合的な事業としていた。現在庁内で検討を詰めている。地方版総合戦略策定と総合計画策定は、内容的には同じものとなる。

6次拠点は研修の場か

黒澤 巖 議員

黒澤 6次産業化拠点施設の性格について、町長と議会との間に認識の差があるのではないかと。町長はチャレンジ・ショップという表現をされたので、正直驚いている。つまり、拠点施設はしっかり商売をして、6次産業化

町長 どちらか一方ということではない。

黒澤 への火付け役、もしくはは町内のトップランナーとなるのではなく、営業や商売という意識の乏しい稲作農家の学習、実践的研修の場として造るということか。

6次拠点説明が不十分

遠藤 章一 議員

遠藤 6次産業化拠点施設建設については、26年6月の全員協議会において場所選定の説明があった。選定理由の一つに予定地は、造成費がほとんどかからないとの説明があった。その後なにもないまま、大造成が行

町長 建設に当たり調査したところ、地盤が軟弱であり、造成工事が必要となった。全協の時と今回については、議会に十分説明し、理解を得たい。



拠点施設運営会社の出資説明会(3月19日 中央公民館)

活発な議論 7議員が総括質疑

本庁舎建設の整備と用途は

高橋 照夫 議員

高橋 過去に財政危機から庁舎建設基金条例を廃止した経緯がある。本庁舎、中央公民館の耐震補強工事に莫大な経費を要するため、庁舎建設基金条例の設定に至ったと理解する。

施設の経年劣化等を踏まえ、利用の複合化や整備方法、建設用途は。

町長 基金は今後の庁舎整備に向け設置するもので、整備方法については検討委員会を立ち上げ、第5次総合計画の最終年度を目指す。

ラスパイレース指数は高いのか

加藤 俊一 議員

加藤 川西町のラスパイレース指数が高い数値で示されたが、給与は、国の人事院勧告に従い支給している。今回、高い数値が出たが計算方法は年代別に区切られており、国・県の基準、年齢構成等による

町長 結果と比べている。27年度予算に反映されているか。

加藤 26年度の退職者が10名いたので、指数は是正されると思っている。町民の理解、信頼を得られるよう説明責任を果たしていく。

大課制を検証せよ

金子 一郎 議員

金子 大課制導入から10年、結果的に役職が増え、わかりづらい組織となっていないか。

町長 メリットをあげると職員数を減らせた事、職員の資質や能力の向上、又少数精鋭による事業推進が図れた事、しかし近年地方分権

町長 加算措置はとっていない。

平成27年度各会計予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計	106億400万円	賛成多数により可決(反対1名)
国民健康保険事業特別会計	20億5353万円	賛成多数により可決(反対1名)
下水道事業特別会計	5億4483万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業特別会計	8637万円	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計	18億1285万円	賛成多数により可決(反対1名)
後期高齢者医療特別会計	1億5381万円	賛成多数により可決(反対1名)

企業会計		収入	支出	議決の内容
水道事業会計	収益的	5億2678万円	5億2226万円	全員賛成により可決
	資本的	2514万円	1億6674万円	

資本的収支 不足する額1億4159万円は消費税調整額、損益勘定留保資金で補てん

佐々木

27年度中に地方版総合戦略を策定するが、地方の雇用が確保されなければ、少子化対策、東京一極集中は是正できない。起業、人材育成を盛り込むべきではないか。

町長

従来のような企業誘致は困難で

佐々木 賢一 議員

あり、起業のチャレンジをどう育成するか大きな課題だ。また、地元的高等教育機関、実業高校を卒業した人材の定着も大切だ。人材育成のため、県が奨学金制度の検討を行うと一緒に研究したい。

金子

大課制導入から10年、結果的に役職が増え、わかりづらい組織となっていないか。

町長

メリットをあげると職員数を減らせた事、職員の資質や能力の向上、又少数精鋭による事業推進が図れた事、しかし近年地方分権

金子

ラスパイレース指数が100を超えているが特別な加算措置などっていないか。

町長

加算措置はとっていない。

※ラスパイレース指数 国家公務員行(一)の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準。26年度は町の指数が100.174となった。

まどかりニューアルにあわせ ダリヤパークサービスに増資



まもなくリニューアルオープンする「まどか」

問 株式会社ダリヤパークサービスに増資することだが、その理由は。
産業振興課長 4月のリニューアルオープンに合わせて、現在200株の発行株式を400株に増資する。理由は、財務基盤の強化を図るためであるが、そのうち町は270株を保持し、主体的に経営に参画していく決意である。増資分の株式は、(株)ダリヤパークサービスへの運営支援や連携強化の運営拡大が期待できる取引先など第三者への割当発行を想定している。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

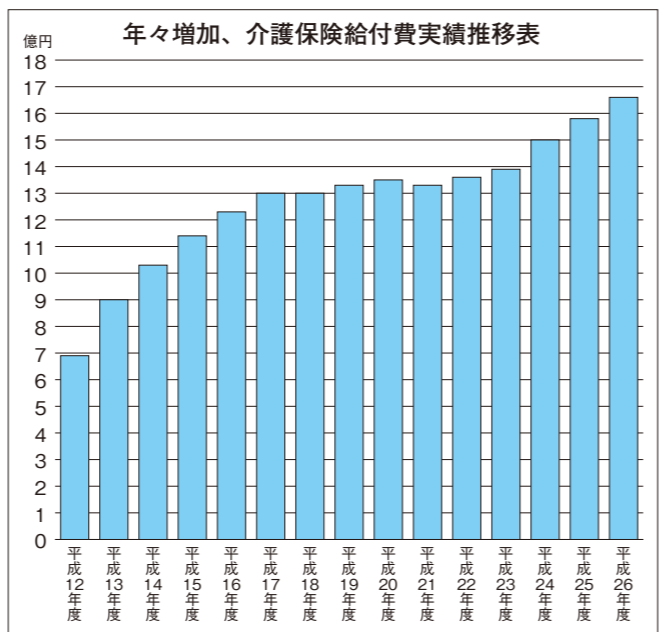
健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。



健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

予算 審議



国際ダリアサミットを開催予定

問 川西町誕生60周年記念事業の具体的なプランは、どの程度できているか。
総務課長 記念式典、女性会議、国際ダリアサミット、教育委員会発刊で『平成のあゆみ』すでに閉校となつた各学校も含めた校歌集CD制作、公開番組の招致などの案が固まりつつある。また広く町民の参加を促すため、小中学生や一般から、作文やメッセージなども募集したい。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

町誕生60周年記念事業の取組み 国際ダリアサミット、校歌CDを

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

健康福祉課長 町民に広く浸透させるため、わかりやすいものを作成し、健康増進計画「健康かわにし(第2次)」の概要版を作成して事業推進に当たるとのことだが、従来、概要版でもわかりにくかった。

町長に聞く

平成27年度の予算について、特に政策的な事項を町長に聞いた。

事務事業のスリム化を大胆に

大課制・グループ制(役場機構)の検証

問 町長が就任して10年。平成16年には「まちづくり基本条例」「新・行財政改革大綱」を策定し、『役場改革』を進めてきた。大課制及びグループ制は、協働のまちづくりと並んでその目玉であったが、今日の時点ではどのように検証評価しているか。

町長が就任して10年。平成16年には「まちづくり基本条例」「新・行財政改革大綱」を策定し、『役場改革』を進めてきた。大課制及びグループ制は、協働のまちづくりと並んでその目玉であったが、今日の時点ではどのように検証評価しているか。

意 大課制グループ制のメリットを最大限発揮し、事務事業のスリム化を図りたい。

広く町民の声を拾い、経営に生かせ

問 6次産業化拠点施設の運営会社への町の係わり方はどうなるか。

町長 会社設立呼びかけ人会や説明会などで、「資本金が十分でない」「役員になるには責任が重すぎる」などの意見があった。このため町が直接資本参加することとし150万円の補正予算を計上した。また新年度予算では、オープンまでのつなぎ資金、

出荷拡大のための支援策に充てる経費を補助金として計上、併せて運営会社への指定管理料を今後27年度補正予算で予定している。

拠点施設では、消費者ニーズを踏まえ、生産者の顔が見える安心安全で鮮度の高い特色ある商品の品ぞろえと、地域の食材を生かしたレストランメニューや惣菜の提供を考えている。また、新野菜などを紹介するコーナーを

設け、調理方法なども紹介しながら販売するとともに、「かわにしブランド」の確立を目指して行く。

平成27年度は、オープンに向け、町民の皆さんと力を合わせて各種事業を支援していく一年にしたい。

意 確かな経営方針を確立するため、広く町民の声を拾い上げ、経営に生かせるシステム作りを行うべきである。



「総合窓口」の提案も

一般質問



淀 秀夫 議員

定例会2日目に、5人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

土砂災害防止の町対策は

町長―地域住民との連携を強化

淀 災害は忘れた頃に起きると言われる。昨年8月、集中豪雨の被害を受けた広島市を、2カ月後に視察。流れ出した山肌が住宅地に襲い掛かり、74人の犠牲者が出た。生々しい傷跡を見て、災害の恐ろしさを知った。山形県の土砂災害警戒区域が7500カ所ある中、川西町は玉庭地区を中心に、59カ所が警戒区域などの指定になっている。指定

区域の把握と対応は。ハザードマップなどを全世帯に配付、注意喚起を行った。

淀 玉庭小学校体育館の改築場所は、土砂災害警戒区域の指定になっている。レッドゾーンからおおよそ1000m離れてはいるが危険はないか。

町長 沢の上流部へ砂防堤防などの安全対策をするよう、県に働きかける。

淀 ボランティアの連携は

広島市の災害地で、各地からのボランティアの方々に会った。去年、一昨年の2回、南陽市吉野川の氾濫の際にも活動をしてくれた方もいた。川西町におけるボランティアの把握と連携はどうか。

町長 災害時のボランティアセンターの設置運営マニュアルの策定作業に取り組み

淀 昨年11月の町防災講習会で、山村講師は「第一に自分の安全、次に火を消す、電気のコードを抜く、隣組の状況を把握。それから行政の包括的な危機管理が大切」と話していた。各地区の自主防災組織の指導は。

町長 自主防災連絡協議会を設置し町と情報の共有を図る。山村講師を招き、地域へ入るなど指導を受ける方針である。



評判の「米粉シフォンケーキ」工房で



広島市の災害現場を訪ねて

淀 自然との調和を保ちながら生活する山里。今年はまだな大雪。雪解け時期にも起こり易い土砂災害。住民の災害意識が大切。

一般質問

町が主体的に置賜総合病院周辺整備を行う

町長 — 公共施設の張り付けなどを積極的に進める



遠藤章一 議員

遠藤 現在、本町には3カ所の工業地があるが、積極的に企業誘致や現有企業への支援、新たな工業地指定も必要では。

町長 二井町工業集積地においては、既存企業との関連業種の立地対応のため、企業立地促進法の重点区域として業種指定を含め追加指定している。企業の意向なども聞きながら、町として支援したい。他の工業地にお

遠藤 公立置賜総合病院周辺は、今後の画においては、今後の開発や市街化動向を勘案し、適切な時期に適切な用途地域の指定をするとしているが、町が積極的に、主導的に関与すべきでは。また、病院周辺を福祉ゾーン

町長 早期に当地のビジョンを立ち上げ、第2期町営住宅地の開発、公共施設の張り付けなどを町が積極的に進めたい。また、看護師養成学校、臨床研修医のためのレジデンスハウスなど、病院関連施設の誘致も調査検討したい。

遠藤 高齢化が進む除雪オペレーター育成を今後も継続、拡充を図るべきでは。

町長 平成25年度は4名の育成支援、平成26年度は、緊急雇用創設事業を活用し、資格取得の支援を行う

遠藤 美女木ニュータウン内の道路は、冬期間、車がすれ違えない状況が毎年見受けられる。町が造成した住宅団地であり積極的な雪対策が必要である。駅西側地区においても、同様のことが言える。抜本的対策として、地下水による消雪道路の新設、再整備や流雪溝の設置を検討すべきでは。

町長 消雪設備や流雪溝導入は、本町の場合様々な課題がある。現在の消雪設備を継続しつつ、機械による除排雪作業の充実を図り、小松町内の冬期間の快適な居住空間確保に努めたい。

また、26年度中に川西町中心市街地活性化基本計画アクションプランが策定予定である。雪対策を含む市街地整備アクションプランの具現化に積極的に取り組むたい。

山形DCの成果は

町長 — ダリヤ園の来園は5万3289人で目標の88パーセントだった

橋本 昨年開催された県内最大の観光キャンペーンである山形デザインেশョン(DC)の本町における成果は。

町長 加茂水族館や羽黒山などの話題性のある庄内地域に観光が集中し、ここ置賜は、7月の集中豪雨やマイマイ蛾の発生などマイナスイメージが先行し振るわなかった。本町では和太鼓演奏、フラダンスの公演や紅大豆の振舞などでもてなした。

橋本 議会だよりが全国最優秀賞に輝いたことにより、全国からの視察者が増え、口コミなどにより、広く川西町をピアーリングできると予想されるが、視察を意識した対応が必要ではないか。

町長 これまでも、視察受け入れの際には、昼食、宿泊、ダリヤ園などの情報提供をしてきた。政策観光化するため

橋本 介護報酬の引き下げ影響は

町長 本町の介護サービス利用者では自己負担額の軽減や介護保険料の抑制につながる。事業者についてはサービスの質を高め

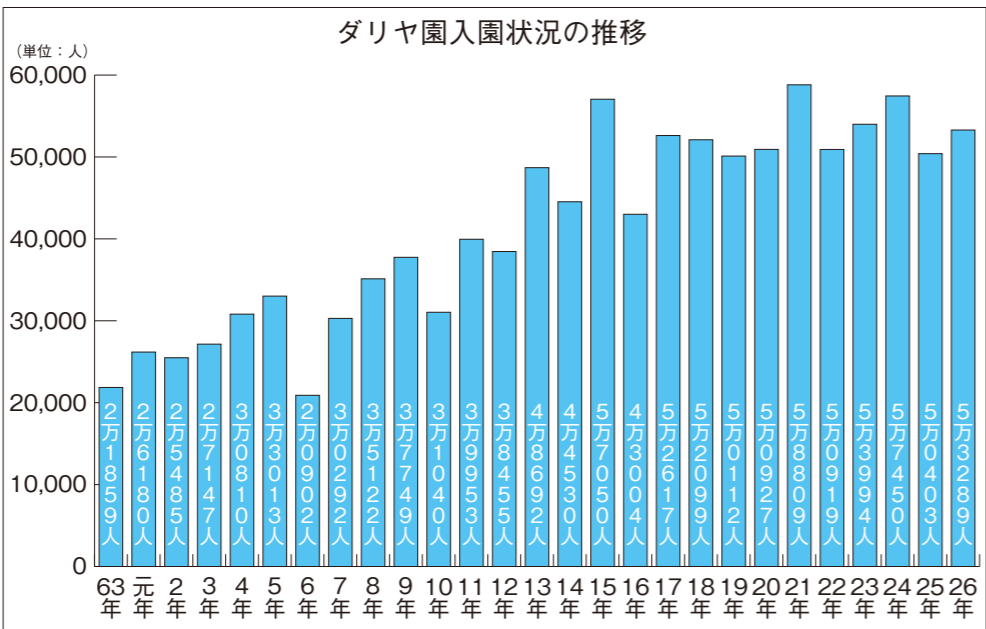
橋本 介護報酬が平均2・27パーセント引き下げられるが、事業運営が圧迫され、介護職員の不足などで利用者サービスの低下につながる。

町長 本町の介護サービス利用者では自己負担額の軽減や介護保険料の抑制につながる。事業者についてはサービスの質を高め

橋本 介護報酬の引き下げ影響は

町長 本町の介護サービス利用者では自己負担額の軽減や介護保険料の抑制につながる。事業者についてはサービスの質を高め

町長 本町の介護サービス利用者では自己負担額の軽減や介護保険料の抑制につながる。事業者についてはサービスの質を高め



の先進的な政策づくりのため、職員研修等を重ね人材育成に努めた。

ること加算措置の適用を受け報酬の水準を維持できるが、事業者によっては減収となる場合もある。

病院周辺を福祉ゾーンに(公立置賜総合病院)

複式学級の解消が学区再編の目的か

教育長 ― そのとおり。合意形成に最大限努める



黒澤 巖 議員



複式学級の解消が施策の目的か (東沢小学校)

黒澤 考える会の答申を受けてきた小学校再編整備計画書を読んだ。たいへんデリケートな課題なので当然ではあるが、論理的で美しい文書だと思う。ところが、計画書は最低でも複式学級の解消こそが本町の第一義的課題だと結論しながら、これを実現するか否かは、東沢、高山、大川、玉庭の各地の検討委員会の議論にまかせるとしている。

児童生徒の教育環境をより豊かなものとするのが教育委員会の最大の任務。子供の教育の最終責任は親にあるのだからというのなら、1年にわたる「考える会」の議論は何だったのか。

者や地域住民の理解を得て、合意形成がなされるよう努める。

黒澤 教育委員がどのような姿勢で、地区協議会と向き合いかは、今後の地域づくりにも大きな影響がある。今日の「コミュニティスクール」や学校支援本部事業は、地域から学校へという動きだが「学校から地域へ」というチャンネルもあり、協議会はそれをどう作るかという議論で

黒澤 なければならぬ。また教育基本法17条の「教育振興基本計画」にも、複式解消の結論を書きこむことになるか。

黒澤 そのように考えている。

黒澤 次期総合計画、人口減少がキーワードだが

黒澤 新しい総合計画は、人口の減少をキーワードにすべきだと思う。それは人口

の減少のマイナス面ばかり見るのではなく、やむを得ぬこととして受け入れ、その時に施策をどのようにソフトするかを準備するという意味だ。議会は、施設は可能な限り複合化・多機能化せよと申し上げている。その方が節約できるというよりも、人口減少社会にはより合理的・効率的な

住民サービスが可能だと思っただけだ。2060年を目標とする人口ビジョンを策定し、これを踏まえた平成27年度から31年度までの5年間の目標をつくる。その上で地方版総合戦略を27年度中に策定するよう、国から通知があった。人口減少対策はこれに示したい。

小松駅に「東西自由通路」は必要

町長 ― 財政面で早急な整備は困難

黒澤 19年6月一般質問で、羽前小松駅の整備と小松地区の活性化を図るため「東西自由通路」の設置を求めた。その結果、要望は実現しなかったが、町民駅としての実績と町長の決意、さらには「えき・まちネットこまつ」の努力もあり、26年3月、羽前小松駅は、全面改築され、新しい町の顔としてスタートした。

建設並びに本庁舎などの公共施設再編整備計画をしっかりと盛り込むことを求める。

町長 現在、川西町中心市街地活性化検討委員会を設置し、小松地区中心市街地の活性化のあり方について検討を進めている。

委員会では、東西地域の交流を促進することとは、不可欠であり、アクセス機能の整備は必要であるとしている。しかし、東西自由通路に固執するものではなく、南北踏切などの拡幅整備の手法などを含め、様々な可能性を研究すべき段階に入っていると聞いている。「東

西自由通路」の整備は、用地の確保や経費の面から早急に整備を行うことは、困難であり、第5次総合計画への反映も慎重に判断すべきと考えている。

黒澤 国は、27年度地方財政対策を明らかにした。その中で、公共施設の老朽化対策の推進として、「公共施設等最適化事業費」を1000億円計上することとなった。

ただし、その事業は、転用後の施設が公共施設、公営企業施設は除くとされており、今回

の国の財政措置は、本町の公共施設再編整備に生かせるのか。また、この財政措置が該当しなければ、国に対して「複合施設化」も対象に「合併しない自治体」の緊急課題として財政措置を求めるべきと思うがどうか。

を図ると共に、過疎対策事業債や緊急防災・減災事業債などの起債（借入金）も研究し、有効な財源確保に向け取り組む。財政措置としての起債発行期間は限定されていることから、国に対して期間の延長や地方財政措置の充実を継続して要望する。

その他 「子ども・子育て支援制度」の充実を求めた。

本町の中心地である小松地区の「中心市街地活性化」は、重要な課題である。第5次総合計画策定の際、まちづくりの絶対条件となる「東西自由通路」の

必要であるとしている。しかし、東西自由通路に固執するものではなく、南北踏切などの拡幅整備の手法などを含め、様々な可能性を研究すべき段階に入っていると聞いている。「東

西自由通路」の整備は、用地の確保や経費の面から早急に整備を行うことは、困難であり、第5次総合計画への反映も慎重に判断すべきと考えている。



斉藤 智志 議員



羽前小松駅、建設が待たれる夢のかけ橋 (東西自由通路)

介護保険料改定・置賜では中位となる

標準 月額5400円に

事業者を支払われる介護報酬を27%引き下げ、1号被保険者（65歳以上の高齢者）の負担割合を1%引き上げることを主な骨子とした介護保険制度の改正を受け、第6期となる町の介護保険料が改定される。

新しい保険料の基準額は、月5400円で1200円の引き上げとなった。また、1号被保険者保険料について

者への配慮として、保険料軽減割合が拡大される。

介護給付事業の重点課題として、地域支援と在宅医療と介護連携事業の推進、さらには認知症施策の推進と生活支援体制の整備に係る事業費を見込んでいく。



健康で長生きが「介護会計」にも一番

これにより、本町の保険料は、置賜で中位となった。（参考・26年度までは一番安かった）

川西町介護保険料比較
平成27~29年度(第6期)

段階	割合	保険料
1	0.5	2700円
2	0.75	4050円
3	0.75	4050円
4	0.9	4860円
5	1	5400円
6	1.2	6480円
7	1.3	7020円
8	1.5	8100円
9	1.7	9180円

置賜3市5町の介護保険料基準額比較

	第4期	第5期	第6期	5期と6期の差額
川西町	4,040円	4,200円	5,400円	1,200円
米沢市	4,075円	5,225円	5,750円	525円
南陽市	3,800円	4,700円	5,400円	700円
高島町	3,400円	4,700円	5,300円	600円
長井市	4,292円	4,617円	5,640円	1,023円
小国町	4,217円	4,625円	5,311円	686円
白鷹町	3,550円	4,381円	5,148円	767円
飯豊町	4,150円	5,290円	6,895円	1,605円

子育て支援の新制度がスタート
町立幼稚園に大きな変化が



「新制度」がこの子たちの未来をより豊かにする

保育料・所得にスライド

子ども・子育て新制度の実施に伴い、保育所・幼稚園その他の幼児施設の利用負担を定める条例が制定された。新たな制度では、町に「保育の必要性」の認定を申請し、認定証の交付を受ける。幼稚園の場合でも、申し込み先の園を通じて認定

を受けることとなる。今回の条例は、新制度の実施主体である町が、その保育料を定めるもので、幼稚園の保育料も、保育所のケースと同様に保護者の所得にスライドする制度となる。

全員賛成により可決

商工業者を表彰

条例の趣旨をさらに

具現化し、商工業者の振興発展に資するため、川西町商工業経営近代化育成基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正し、貢献された人を顕彰するものである。

こととなったため「財政調整基金」を取り崩すなどを行い、対応しなければならぬ。こうした状況から、特別職の報酬を一年間減額する条例が提案された。減額する報酬は、月額、町長8万4000円、副町長3万3500円、教育長2万9250円となる。

特別職の報酬減額

27年度は、大型プロジェクトを多数抱える

賛成多数により可決 (反対4人)

その他の条例・議決状況

条例内容	議決の内容
川西町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成により可決
川西町教職員住宅設置及び管理条例を廃止する条例の設定について	全員賛成により可決
川西町介護予防事業、地域密着型サービス事業等の人員・設備・運営に関する条例の設定について(関連2条例)	全員賛成により可決
川西町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成により可決
川西町地域包括支援事業の実施基準を定める条例の設定について	全員賛成により可決
川西町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成により可決
川西町町有牛貸付管理条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成により可決
川西町庁舎建設基金の制定について	全員賛成により可決
川西町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成により可決

表紙の写真



思い出がいっぱい

3月25日に行われた、北斗幼稚園(大塚)の卒園式のワンショットです。

入園から今までの、いろいろな出来事の思い出を、アルバムを見ながら語り合っていました。これから始まる新たなスタートに、胸をはずませながら語り合う瞳は純粋そのもの、キラキラした光を放っています。いつしか私たちが忘れていた輝きです。小学校に入ってから大きな夢を持って、輝き続けてほしいものです。

補正予算

除雪費 最高額に

平成26年度一般会計の補正予算は、2月3日に臨時会を開き、第9号3月定例会で第10号、第11号の2件の補正予算が提案され、今冬の大雪の提案があった。またそれに先だつた。この除雪費等が審議された。

といた大雪で、除雪機械はフル稼働となり、町の除雪費も増額された。2月補正で8000万円、3月補正で1200万円を追加し、除雪費予算の総額は2億2850万円となり、これまでの最高額となる。

6次産業化拠点施設は、公設民営を基本とし、運営母体を指定管理者に指定して運営を行うことにしている。運営母体は、株式会社とし、町民の出資によって運営されるが、これまでの説明会等において、町民から経営参画に対して不安視する意見があった。

町は6次産業化推進基本計画に基づいて、町が主導して拠点施設整備を進めてきた経緯から、運営母体（株式会社）に對して、町としての出資金150万円の資本参加を行うこととし、積極的に運営に参画することとした。



この冬も除雪機械はフル稼働

6次産業化拠点施設に町が150万円を出資

6次産業化拠点施設整備事業出資金について、この事業は公設民営的な運営と認識しており、まず一般からの出資優先と認識していた。しかし、まだ議決されていない補正予算で町が出資金を拠出することでは議会軽視である。また、はじめから、町からの出資ありきでは順番が逆であり、適正な出資比率の維持も難しい。出資金募集中の現時点の予算計上は適当ではない。

反対
橋本欣一 議員

一般会計補正予算(第10号)で 討論がありました

賛成
加藤俊一 議員

6次産業化拠点施設の運営母体は、町として町報や各地区説明会等を通じ、町民からの出資を募り進めていくのが方針が示された。 「資本金が十分でない」、「新会社の役員になるには責任が重く戸惑う」等の意見が出されたことから、町が積極的な支援、関わりが必要と判断したものと考える。このことから拠点施設の万全な運営準備が進むことを念頭に入れた補正予算であり賛成である。

まち・ひと・しごと創生法 先行して交付金

消費喚起策や生活支援に

町・ひと・しごと創生法(平成26年11月21

平成26年度各会計補正予算

会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第9号)	99億7000万円 (9500万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第10号)	99億8880万円 (1879万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第11号)	100億9795万円 (1億914万円を追加補正)	賛成多数により可決 (反対1人)
介護保険事業特別会計	17億6609万円 (2003万円を追加補正)	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	1億5704万円 (113万円を追加補正)	全員賛成により可決

平成26年度補正予算(9、10、11号)の主な内容	
(歳出)	
除雪費(第9号)	8000万円
除雪費(第11号)	1200万円
バス路線維持対策(中街道)	245万円
地域活性化生活等緊急支援交付金事業	9614万円
(歳入)	
地方交付税	444万円
国庫支出金(地域活性化生活等緊急支援交付金)	8511万円
財政調整基金繰入金	1億2287万円
除雪負担金	1000万円

日成立)に基づき、国の長期ビジョン及び総合戦略策定を受け、その支援策として交付金が創生され、町ではそれを受けて事業を行うことにした。

国は、自治体に対して27年度中に5カ年の地方版総合戦略を策定するよう求めており、その事業に対して交付金を交付するが、27年度については26年度の補正予算で対応することとしている。

交付金は「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」と名付けられ、本町には8511万2000円が交付される。交付金は2タイプがある。

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金実施事業			
1	地域消費喚起・生活支援型	4467万1千円	
	事業名	事業内容	事業費 交付金充当額
	景気浮揚対策	プレミアム商品券の発行。助成率20%	2031万円 2000万円
	プレミアム付き宿泊券	プレミアム宿泊券の発行。助成率40%	6190万円 500万円
	低所得世帯生活支援	非課税世帯負担軽減のため商品券を発行	1044万円 1010万円
	子育て支援生活支援	子育て世帯の負担軽減のため商品券を発行	590万円 590万円
	地域子育て支援	誕生祝いに利用券を発行	406万円 367万円
2	地方創生先行型	4044万1千円	
	地方版総合戦略策定	策定費用	521万円 500万円
	就農支援・6次産業化	新規就農、新作物導入、農産加工等	2343万円 1544万円
	定住・移住推進	移住のための環境整備、賃貸住宅支援	1750万円 1700万円
	地域子育て支援	子育てに関する情報サイト構築等	308万円 300万円
	合計		9614万円 8511万円

ある。地域消費喚起・生活支援型は、地方公共団体が実施する消費喚起策やこれに直接効果をもつ生活支援策に交付するもの。地方創生先行型は、地方公共団体による地方版総合戦略の早期かつ有効な策定と、これに関する優良施策等の実施に

対して交付するもの。それぞれの交付金に係る実施計画書について、国の総合戦略が定める政策分野に基づき実施事業を設定し、国の創生本部と調整が行われた。

交付金事業は繰越明許で全て27年度に実施される。

※繰越明許 年度内に予定していた事業が終わり、予算を次年度へ繰越して事業を完成させること。議会の承認を必要とする。

請願

継続

◎集団的自衛権行使に反対する意見書提出についての請願

《所管》
総務文教常任委員会
《請願者》
平和憲法を守り、社会保障をよくする川西の会
代表 平 隆雄
《紹介議員》
齊藤 智志

審議未了

《請願の趣旨》
集団的自衛権は、日本が直接攻撃を受けていないのに、同盟国や親密な国が攻撃を受けた場合、連携して武力で反撃する行為であり、憲法9条で固く禁止してきたものである。
このため、歴代内閣は、「憲法9条の下では、海外での武力行使は許されない」との見解を堅持してきた。しかし、安倍内閣は、これまでの政府見解を覆し、集団的自衛権行使容認の閣議決定を行い、「戦争のできる国」への道を開こうとしている。
以上の趣旨から、次の3点について請願が提出された。①閣議決定を撤回すること。②立法措置を行わないこと。③憲法9条を生かすこと。
《審査の経過》
所管の委員会では、

人事

●横山 昇(再任)
川西町大字小松
同氏の任期が平成27年3月31日をもって満了となるため、議会の同意を求め選任するもの。
全員賛成で同意

見あり、辛口な意見ありと大変刺激的な光景でした。
よくよく考えてみれば川西町に生まれ育ち暮らしてまもなく50年やれ豪雪だ、やれ盆地で猛暑だどばやきつものこの先もきつと住み続けることでしょうか。そんな私たちの川西町の未来を決めていく大事な議会ですが、モニターをお引き受けしておきなから足を運ぶ事はなかなかできないのであります。本来なら私達の代表の方々が町の未来予想図をどのように描こうとしているのかを見届けるべきなのではないでしょうか。
権利ばかりを主張して町民の義務を怠ることのないように、身近な議会だによりよく目を通していかうと思いましたが。今回は、貴重な体験をありがとうございました。

3月の議会傍聴にお伺いしたのは議会定例会最終日でした。役場に用事があり議場近くを通った事はあるものの、入室するのは初めてでしたので多少緊張しながら足を運びました。すでに審議が始まっており、活発な意見

3月の議会傍聴にお伺いしたのは議会定例会最終日でした。役場に用事があり議場近くを通った事はあるものの、入室するのは初めてでしたので多少緊張しながら足を運びました。すでに審議が始まっており、活発な意見

3月の議会傍聴にお伺いしたのは議会定例会最終日でした。役場に用事があり議場近くを通った事はあるものの、入室するのは初めてでしたので多少緊張しながら足を運びました。すでに審議が始まっており、活発な意見



広報モニターから
ひとこと ⑧
東沢 須貝よし子さん

委員会レポート

産業厚生常任委員会 プレミアム商品券 今後も継続を



さらに一工夫が求められている

- 1月16日、川西町商工会と産業厚生常任委員会との意見交換会を行った。
- 商工会から
- ①町予算の農林水産業費と商工業費の割合の違い
 - ②人口減少対策について
 - ③プレミアム商品券について
 - ④町職員給与のラスパイレシ指数について

の問題提起があり意見交換を行った。

- ①の予算の割合については、農林水産業費は5億5千万程度。内容はほとんど補助金。商工業費は4億円程度あるが、まどかの工事費が3億円ほど。残り1億円が商工業費になる。
- ②の人口減少対策では医療費無料化、住宅支援など、子育て支援に力を入れるべき。
- ③のプレミアム商品券では、27年分については現時点では要望しないが、状況を見て要望するとの意見があり、議会からは、事業は継続すべき、町民全体が活用できる仕組みを考えてほしいとの意見が出された。
- ④のラスパイレシ指数については、年齢構成などによるもので高い数値がでたと思われる。今後精査していきたいとの意見が出された。



「再編計画」が結論となる訳ではない

2月10日、閉会中の所管事務調査を行った。「あすの川西町の小学校を考える協議会」から児童数が減少し続けるの答申を得て、川西町立小学校再編整備計画の説明があった。

児童数が減少し続けるの答申を得て、川西町立小学校再編整備計画の説明があった。

児童数が減少し続けるの答申を得て、川西町立小学校再編整備計画の説明があった。

児童数が減少し続けるの答申を得て、川西町立小学校再編整備計画の説明があった。

3月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	14	15
議員名	橋本 欣一	遠藤 章一	斉藤 智志	高橋 建一	黒澤 巖	高橋 照夫	淀 秀夫	加藤 俊一	島貴徳 石工門	高橋 忠	金子 一郎	佐々木 賢一	高梨 勇吉	齋藤 修一
議第2号 平成26年度川西町一般会計補正予算(第10号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号 平成27年度川西町一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号 平成27年度川西町国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号 平成27年度川西町介護保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号 平成27年度川西町後期高齢者医療特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号 川西町特別職の職員の給与に関する条例及び川西町教育長の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例設定について	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

町提出議案27件、請願審査1件、議員発議2件。○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない。その他の議案は全員賛成。

議長交際費(議会活性化の一環として公開)

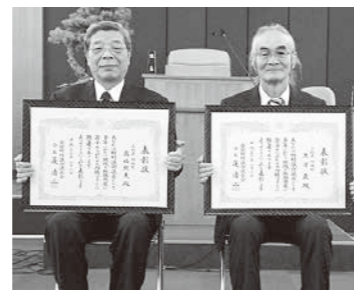
4月から9月までは、10月15日号で公開済み

年月	件数	金額	内容	年月	件数	金額	内容
26年10月	5	24,672	置賜地方議長会・局長会ほか	27年 2月	0	0	
11月	2	14,935	東京川西会交流会ほか	3月	1	5,000	東北中央自動車道利活用勉強交流会
12月	2	10,000	消防団幹部新年会ほか	下半期合計	13	74,607	
27年 1月	3	20,000	川西町建設業協会新年会ほか				



山形県町村議会議員表彰

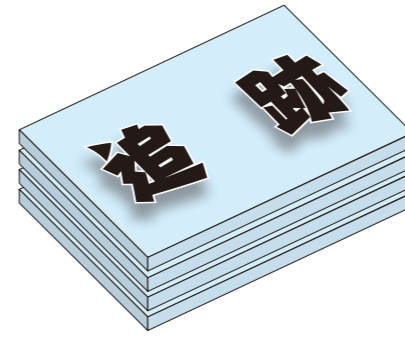
山形県町村議会議員会より、「議員在職11年以上」の自治功労者として
高橋 建一議員
金子 一郎議員
が表彰されました。



全国町村議会議員表彰

全国町村議会議員会より、「議員在職15年以上」の自治功労者として
高橋 照夫議員
黒澤 巖議員
が表彰されました。

おめでとう自治功労者表彰



あれから…… どうなった!



川西の「水」に不平はないが

川西の「水」をどうにかしねど

「湯水のように使う」というたとえがあるように水は安い物の代名詞である。しかし実際のところ川西町の水道料金は安くはない。県内でも高い方にランク付けされており、議会でもたびたび議論を呼んできた。しかも、その川西町の「水」がたいへんなことになりつつある。

経営健全化計画を策定

川西町の水道料金が改定(値上げ)されたのは、最近では平成20年のこと。その前は平成3年であったから17

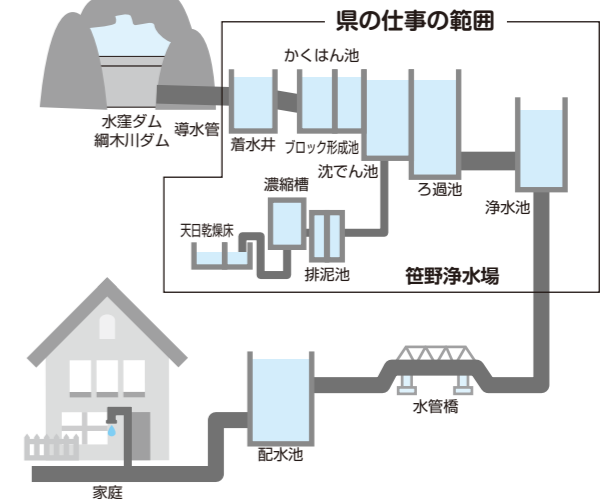
年ぶりであった。19年度決算をみると、純損益5億3910万円の赤字、累積欠損金は7億6260万円である。このため、この年に地方公営企業法の定め

この計画書は、当面の借金返済を減らすため、資本費平準化債に借り換えたり、経営危機の最大要因であった設備投資を、維持管理分のみに限るとするなど徹底した経費抑制型の再建計画であった。29年度までの収支想定もなされ、23・24年度には、とりあえずの資金不足は解消できるはずだったのである。

高い原価がネック

ところが、これがなかなか容易でない事態となっている。人口の減少で水の需要が減った上に、川西町の水道水はすべて県企業局から仕入れたもので、責任水量(基本料金のよくなもの)を減らしてもらったり、工夫はしているものの、単価を下げることは自力ではできない。試みに計算すると、1㎡あたり2

広域水道のしくみ



議会広報全国コンクール最優秀賞に輝く

町民視点の編集に高い評価

町村議会特別表彰も受賞

議会だより第117号が、第29回町村議会広報全国コンクールにおいて、ついに全国一の最優秀賞に輝いた。昨年末で4年連続「優良賞」を受賞し、コンクールでも上位クラス

の議会といわれてきたが、全国のレベルは年々高くなっており、審査員の先生の「順位付けが難しくなった」との総評がある中で、最優秀賞に選ばれたことは非常に価値がある。

全国コンクールには、41都道府県234町村の議会だよりの応募があった。

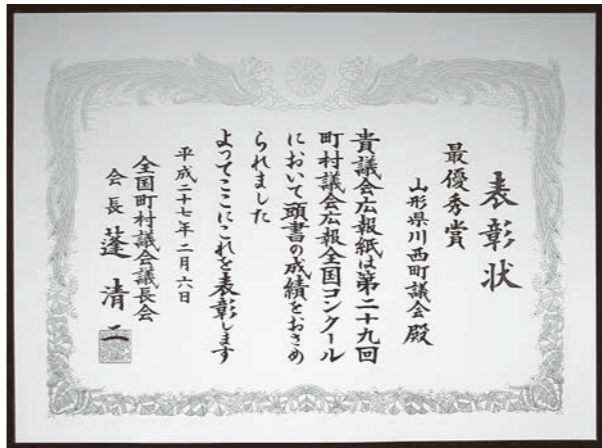
4人の審査員により、1次審査、2次審査を経て上位作品を選候補とし、各紙の特徴と編集体制、編集技術を比較検討して、最優秀賞(1紙)、優秀賞(3紙)、優良賞(6紙)が選ばれたもの。

町民参加のコーナーを多く設け、町民と一緒に作る広報に取り組んできた。

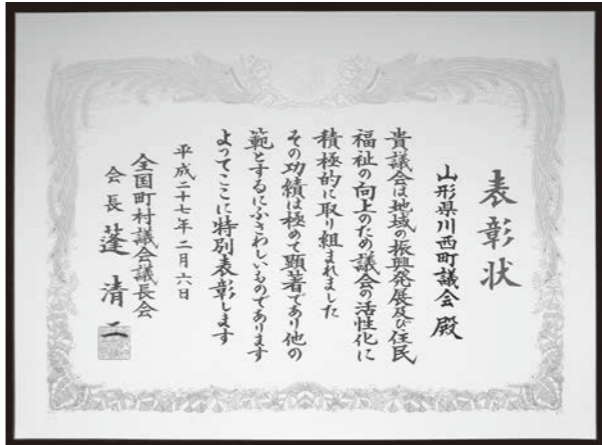
特別表彰 「開かれた議会」が評価

25年5月に議会基本条例を施行した。「開かれた議会」という観点から、住民との意見交換会を地区ごとに開催し、住民の意見とそれに対する回答を議会ホームページに掲載するとともに、政策提言をまとめ、町長に提出している。政策提言は議会だよりに掲載され、住民に周知されている。これらのことが評価

された。また文章、写真にアドバイザー制を採用、見出しや写真に工夫を凝らし、さらに、



議会広報全国コンクール 最優秀賞



町村議会 特別表彰

「かわにし議会だより」第117号は、高い評価を受け、念願の最優秀賞受賞となった。町議会では、わかりやすい、読みやすい議会だよりを目指し、表紙、紙面の一新を図つ

た。また文章、写真にアドバイザー制を採用、見出しや写真に工夫を凝らし、さらに、

これらにより、住民との意見交換会を地区ごとに開催し、住民の意見とそれに対する回答を議会ホームページに掲載するとともに、政策提言をまとめ、町長に提出している。政策提言は議会だよりに掲載され、住民に周知されている。これらのことが評価

審査員 講評

ゆとりある行間が読みやすい

山田 貞雄委員長

縦書き2段組のリード、1行の文字数が少ないためゆとりのある

行間が読みやすい。出し活字の大きさには検討を。ただし字体などの工夫は大きさとの兼ね合いで成功している。小見出しにはさらなる工夫の余地がある

か。慣れない政策提言をフロッチャートで説明しつづけるところや用語注記の欄外への導きに成功している。編集後記の存在意義内容選択については、従来の発想からの脱却を望む。

議会の立場が鮮明

芳野 政明委員

巻頭特集として「初めての政策提言書を出す 一年後に検証・評価を行う」は、議会の機能発揮と存在意義を示し、テーマの重要性が伝わる構成となっている。紙面にメリハリがあり、見る人に次ページを開く期待感があるページネーションもよい。具体的で的確な議会の立場が鮮明な見出し、読みやすく分かりやすいレイアウトも訴求力がある。「私もひとこと」「町民の声」の住民登場も好企画だ。



最優秀賞を受賞した第117号

議会改革と広報の対話力を兼ねる

吉村 潔委員

わかりやすく、読者の参加意識を促す数少ない広報紙だ。企画・編集、レイアウトなどどれをとっても、誰が読むのかということが明確に意識されている。意見交換会を起点とした政策提言も、議会活動と広報・広聴のあり方を先進的に示している。議会改革と広報の「対話力」を兼ね備えた広報紙はあまり見あたらないので、更なる進化を期待する。

住民の声が多く訴求力あり

長岡 光弘委員

2Pからはじまる「提言書」紙面は、提言の概要、提言の流れ、各提言の詳細等、住民に分かりやすい編集と表現が施されている。各紙面に住民が多く登場し、訴求力のある紙面となっている。議員の様々な活動が住民に分かる議会報となっている。紙面全体を通して総合的なスキルが高く、住民視点での紙面編集を高く評価したい。「地方議会人」より抜粋



最終校正は印刷所の2階で

まちの未来が見える (3月定例会の傍聴者は31人)
議会傍聴においでください

次の定例会は6月

定例会本会議は NCV、インターネットでご覧になれます

町民の声



❖ プロフィール ❖

かたくら ともこ
片倉 智子

島根県奥出雲町出身
家族 夫、子供2人、父、母、
祖母の7人家族
趣味 読書
老舗の家業(菓子店)に従事

小松地区にお住まいの、
片倉智子さんに子育て
や町に望むことを聞き
ました。

豊かな自然の中で

川西町に嫁いで4年
になります。様々なご
縁があり、遠く島根県
からやってきました。

知らない土地での生
活に戸惑うことも多く、
当初は不安な気持ちで
いっぱいでしたが、家
族や地域の方、そして
職場の方の温かさに支
えられ安心して生活す
ることができています。
冬の雪の量には毎年
驚かされていますが、
豊かな自然に囲まれた
中で子育てができるこ
とに幸せを感じていま
す。

子育て奮闘中

2人の子どもに恵ま
れ、慌ただしくも楽し
い毎日を送っています。
我が家は7人とい
う大家族で、父母と92
歳の祖母の協力もあり、
仕事と育児の両立をす
ることができています。

いっそこの子育て環 境の整備を

1歳と3歳の子ども達
はとにかく元気で、い
つも家中を走りまわっ
ています。これからの
季節、外遊びを思いっ
きり楽しめたらいいな
と思っています。

川西町では中学生ま
での医療費の無料化な
どの子育て支援制度が
充実しており、小さな
子どもを持つ親として
はとても助かっています。
定期健診やびかび
か歯つばい教室など、
子どもの健康管理につ
いても支援して頂き大
変満足しています。

また、地域毎の行事

また、地域毎の行事
や夏祭りなど、一緒に
楽しめるイベントも多
くあり、いつも楽しみ
にしています。

冬の間は、雪のため
小さな子ども達が体を
使って思いつき遊び
することができず残念に
思っていました。安心
して遊ぶことができ、
親同士のコミュニケーション
もできるような
屋内施設があるとい
いなど感じます。
少子化が進んでいま
すが、今後も子ども達
が安心してのびのびと
生活できるような環境
作りに期待しています。



4世代そろって記念写真

編集のあとで

▼町民との意見交換
会からの政策提言は、
議会の政策形成サイ
クルとして基本条例
に定めたものです。
提言を町の施策に反
映させたいものです。

▼改選期を迎え、編
集体制も変わります。
新メンバーには、い
っそう読んでもらえ
る議会だよりを目指
し、おごることなく、
自信をもって発行し
ていただきたいと思います。
ご愛読ありがとうございました。
(橋本)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 橋本 欣一
- 委員 島貫徳石エ門
- 同 黒澤 巖
- 同 齊藤 智志
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 大友喜味雄
- アドバイザー(写真) 青木 督平
- 鳴 源一
- 齋藤 史郎